

(3) 事例発表2 発表者：横浜市立東山田中学校コミュニティハウス 館長

「学校と地域をむすぶ」～横浜市立東山田中学校区の試み～

- 東山田中学校 ～ 神奈川県初のコミュニティ・スクール
- 中学校内にあるコミュニティハウス ～ 人と情報を結ぶ場
- 学校支援地域本部 ～ 地域につくられた学校の応援団
- 地域と学校をむすぶために
 - ・ 3つの共有～情報の共有・思いの共有・アクションの共有
 - ・ パートナーとなるために
コミュニケーション、小さな成功体験の共有、大人も学ぶ、
継続できるような工夫



- 「わたしのまち」「わたしたちの学校」という意識をもち、地域とともにある学校づくりへ

(4) 部会別協議

- ① コミュニティ・スクール部会（参加者：118名、17班）

指導助言者：岡山市立岡輝中学校 元校長

光市立浅江中学校学校運営協議会

「あさなえネット」会長

- ② 学校支援部会（参加者：148名、23班）

指導助言者：横浜市立東山田中学校コミュニティハウス 館長

長府地区ふるさと協育ネット「ほっちゃんや」コーディネーター

下関市立豊浦小学校 教頭



それぞれの部会で、6人程度のグループ協議を行った。基調講演や事例発表の感想や質問、日頃の取組を通しての疑問や課題をどのグループも活発に意見交換し、グループ間の交流を図った。すべてのグループが発表し、指導助言者から質問への回答を含め、指導助言をしていただいた。



6 アンケート結果から

「学校関係者と地域関係者が同じ空間で研修できたことが大変有意義であった」という意見をたくさんの方からいただいた。また、「イメージを具体的に描くことができた」「合同研修会は今後も必要である」という意見も多かった。

しかし、協議の時間がやや短く、もっと協議を通して、参加者交流を図りたかったという意見をいただき、第2回の研修会では、協議を中心に実施することとした。